

# 農民作家・遠山あきの思い出(下)

## 小湊鉄道のこと で聞き取り調査

筆者は、遠山あきさんに3回ほどお目にかかっている。一番印象深いのは、市原市の加茂公民館での面談であり、2006年11月13日のとき(あきさん89歳)である。それは、千葉大学の大学院生の修士論文の調査研究のための聞き取りであった。それより何年前か、千葉県立中央博物館での講演会に参加し感銘を受け、講演者のあきさんと初めて話をした。これが縁となり、私も同席して今回の聞き取り調査となったのである。

## あきさんが描く戦時の日朝交流と権の花

前回は、あきさんが郷土史にもとづく作品をいくつも書いていた。同人誌『権』から、「権の記憶」を紹介した。この作品は、第37号、平成26年(2014)年8月31日発行で、38ページ、4万字からなる。権(むくげ)は韓国の国花、日本の桜に相当する。芙蓉に似て愛らしい花だ。本作品は、全部で6章からなる。

第1章は、「大正十一年、私が六歳の頃のことです。……」と、落し、パイロットが住民に殴る蹴るの暴行を受け、無蓋の小湊鉄道に乗せられ、運ばれていくのを見たという。あきさんの話からは、その時代に生き、目撃した出来事ではあるが、作家の語り口は目に見えるようで、さすが

## 地元力発見!

佐藤建吉 「洗楓座」代表



母・遠山あきに瓜二つの二女・宣子さん

韓国の国花・権の花



ず、朝鮮に帰国した。その非礼の詫言に、朝鮮人の世話人をして、朱さんが権の花輪をもつて来た経緯を記している。

第2章では、昭和20年に千葉市にある実家が空襲を受け、婚家の市原市田淵から小湊鉄道と徒歩で両親の安否確認に千葉市

牛車に救われた話。故死した。小湊鉄道会社から永続第3章では、到昌寺に祀っていると聞き、あき

着した千葉市での避さん寺の過去帳でその記載を難の様子、蘇我、新確認した。その際、別事故で朝

宿、西千葉などの朝鮮人の李さんが事故死したこと葉の街の様子や、実を住職に聞き、小湊鉄道会社に

家の避難先を探す徒照会すると、同社はその人にも労、金さんの親戚と弔意金も支払い手厚く扱っている。感慨深く記している。

第4章は、千葉市の寒川小学校の教師としての終戦前の水力発電所建設に15人の朝鮮人話である。寒川あたが出稼ぎに従事していた。若い

み、在日二世の李とが生まれ騒動となったが、飯場

いう人が、「もくれんの会」の豪傑ばあさんのおはなさんがという現在の異業種交流会引き取り、丸く収めたという。のような会を組織して、その子の父親に当たる若者が、た。戦時中は朝鮮人差別も感謝のしるしに権の木の苗を、大きかったが、その中で李木造橋の傍に植えて行ったといさんが関わった次のようなう。が、コンクリート橋に造り逸話が紹介されている。小替えの時、権は倒されてしまっ

湊鉄道が走る養老深谷周辺の自然は美しい。その保全と、はかなさを、私はしみじみに努力し80歳で没した日高と、思わずにはおられません。」誠実の偉業を讃える石碑建立を書家の中村象閣が懇願した。その言葉に呼応した

国から権の苗を取り寄せ、橋の傍らに植樹することを、地元のホテルの富澤会長に提案して数年経てしまった。日韓関係が好でなく未了であるが、遠山あきさんが遺してくれた地元の実に伝えるために是非とも実現したい。

1950年山形生まれ。東京都立大院卒。元千葉大学院工学研究科准教授(金属疲労専攻)。金属疲労の研究のほか、他分野のテーマの研究開発に努めるとともに日本各地の地域おこし活動に従事する。ローカル鉄道と地元の酒蔵のコラボで地域再生を図る地酒「鐵の道」の製造・販売を企画、すでに10件を超える銘柄を送り出している。一般社団法人「洗楓座」代表。「全国ふるさと大使連絡会議」理事